

## 【投稿・執筆規定】

### 1. 本誌の目的

- ① 理学療法及びその関連領域における、研究報告と実践報告の場を提示すること。
- ② 理学療法士の卒後継続教育の奨励（教育的な論文の掲載）。
- ③ 中部リハビリテーション専門学校同窓会で処理された色々な事柄の記載。

### 2. 投稿記事の種類

調査・研究、症例報告、卒後症例検討会、文献抄読、その他

### 3. 投稿者の資格

原則として筆頭執筆者は本会の会員であること。しかし、特に本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。

### 4. 具備すべき条件

- ① 規定枚数について  
調査・研究、症例報告は図表、参考文献を含み、400字詰め原稿用紙20枚程度、卒後症例検討会は図表、参考文献を含み、8枚程度、文献抄読は3枚程度とする。図表は1つ400字換算とする。
- ② 論文には和英併記にて題名・所属名・氏名をつける。
- ③ 原稿は横書き、口語体、現代かなづかい、数字は算用数字、数量は原則として国際単系（SI単位）を用いる（時間：s、長さ：m、量：kg、温度：℃、周波数：Hz等）。
- ④ 文献は必要最小限にとどめ、本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、項（最初—最終）西暦年の順に書く。単行本の場合は、著者氏名、書、編集者名、発行所名、年次、項を記載する。文献の省略は公の省略法（IndeMedicusなど）に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を書き、他は・他、またはet al.とする。  
例）  
近藤克則，太田正：脳卒中早期リハビリテーション患者の下肢筋断面積の経時的变化－廃

用性筋萎縮と回復経過－，リハ医学 34：129－133，1997

O'Dwyer NJ, Ada L, et al. : Spasticity and muscle contracture following stroke. Brain 119 : 1737－1946, 1996

平山恵造：筋緊張，神経症候学，光文堂，東京，1971，pp447－494.

伊藤鉄夫：大腿骨頸部内側骨折，股関節外科学改訂2版 伊藤鉄夫（編），金芳堂，東京，1983，pp419－447.

- ⑤ 調査・研究，症例報告には400字程度の要旨をつけること。

### 5. 原稿の選択

原稿の採否，掲載順は編集委員にて決定する。また，編集の責任において，多少字句の訂正することがある。

### 6. 校正

著者校正は原則として1回とし，校正は赤字で行う。

### 7. その他

本誌に掲載された論文の著作権は，中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」に属する。

### 8. 原稿送付先および連絡

〒453-0028 名古屋市中村区若宮町二丁目2番地  
中部リハビリテーション専門学校  
TEL 052(461)1677 FAX 052(471)2333  
同友会事務局宛